

# 調査依頼書(CentreCOM FS702FCR/FTR)

年 月 日

一般事項	
1. 御社名:	
部署名:	ご担当者:
ご連絡先住所: 〒	
TEL: ( )	FAX: ( )
2. 購入先:	購入年月日:
購入先担当者:	連絡先(TEL): ( )

## ハードウェアとネットワーク構成

### 1. ご使用のハードウェア機種（製品名）、シリアル番号、リビジョン

製品名: CentreCOM FS702FCR・FS702FTR（どちらかを で囲んでください。）



### 2. お問い合わせ内容

別紙あり 別紙なし  
設置中に起こっている障害 設置後、運用中に起こっている障害

### 3. ネットワーク構成図

別紙あり 別紙なし  
簡単なもので結構ですからご記入をお願いします。

# ファーストイーサネット・スイッチ CentreCOM® FS702FCR/FTR ユーザーマニュアル

この度は、CentreCOM FS702FCR/FTR（以下FS702と略記します）をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。このユーザーマニュアルをお読みになり、正しい設置を行ってください。また、お読みになった後も、大切に保管してください。

## ● 製品概要

FS702は、2つのポートを持つFast Ethernet (100Mbps)スイッチです。2つのポートしか持たないという点でブリッジと非常に似ており、基本的な使い方もブリッジと変わりませんが（ネットワークポロジの適切な個所に導入するだけで複雑な設定は不要です）。しかしながら、本製品は100BASE-TX、100BASE-FXのサポートや、高性能なスイッチング技術の搭載によって、ネットワークのあらゆる個所で高いパフォーマンスを発揮します。また、100BASE-TXのポートは10BASE-Tもサポートしており、100Mbps・10Mbpsの通信速度の変換も可能です。さらに10BASE2 (BNC)、10BASE5(AUI)もサポートしており、幅広い用途に使用できます。以下に、本製品の基本的な働きや特長について説明します。

100BASE-FXのポートがSCタイプのものがFS702FCR、STタイプのものがFS702FTRです。FS702の使用により、最長2kmまで延長できる光ファイバーのネットワーク網を容易に構築できます。

- ・光ファイバーのネットワーク構築に最適
- ・電源内蔵型
- ・Full Duplex/Half Duplex切り換え機能
- ・100BASE-TX/10BASE-T切り換え機能
- ・10BASE-2(BNC)、10BASE5(AUI)ポートを装備
- ・ストア&フォワード・スイッチング方式
- ・ネットワークや機器の状況が一目でわかるLED表示機能付き

## ● 同梱品一覧

最初にFS702の梱包箱の中身を確認して、以下のものが入っているかを確認してください。

- ・ FS702本体
- ・ 電源ケーブル (AC100V用)
- ・ 保証書
- ・ お客様インフォメーション登録カード
- ・ ユーザーマニュアル
- ・ シリアル番号シール
- ・ 製品仕様書 (英文)

## 使用および取り扱い上の注意

本製品を安全に使用するために、以下の事項は必ず守ってください。守られていない場合、感電や怪我、火災、故障の原因となります。



**ケースを外さないでください。**  
本装置の内部には高電圧の箇所が存在します。感電の恐れがありますので、絶対にケースを外さないでください。ユーザーに必要な部品は内包されています。



**稲妻危険**  
稲妻が発生しているとき、ケーブルの配線などの作業を行わないでください。落雷により、感電する恐れがあります。



**光ファイバーケーブル・コネクタを直視しない**  
光ファイバーケーブルの端面や機器側のコネクタなどを目で直視しないでください。強い光を通している場合、目に障害が発生する恐れがあります。



**正しい電源を使ってください。**  
本装置は、AC100-240Vで動作します。ご使用前に必ずご確認ください。なお、本装置に付属の電源ケーブルは100V用ですので、ご注意ください。



**正しい電源ケーブルおよびコンセントを使用してください。**  
本装置に電源を供給する場合には、必ず電源電圧に適合した電源ケーブルをご使用ください。日本国内などで100Vでご使用になる場合は、本装置に付属の電源ケーブルをご使用ください。電源ケーブルのプラグは、接地端子付きの3ピン電源コンセントに接続してください。不適切な電源ケーブルや電源コンセントをご使用になった場合にお客様が被った損害についてはいかなる責任も負いかねます。

電源ケーブルは無理に折り曲げたり、引っ張ったり、なじたりしないでください。また、圧力がかかりコードがつぶれてしまうような箇所に電源ケーブルを敷設しないでください。



**たこ足配線をしないでください。**  
テーブルトップをご使用になる場合、たこ足配線をしないでください。たこ足配線は、火災の原因になります。



**通気口をふさがないでください。**  
本装置の通気口をふさがないでください。通気口をふさいだ状態で本装置を使用すると、加熱などにより故障、火災の恐れがあります。



**取り扱いには丁寧に**  
落としたり、ぶつけたり、強いショックを与えないでください。



**動作温度**  
本装置は、周囲温度 0 ~ 40 の範囲でご使用下さい。特に、本装置をラックなどに組み込んでご使用になる場合、換気には十分ご注意ください。



**異物を入れないでください。**  
通気口から金属や液体などの異物を入れないでください。本体内部に異物が入ると火災、感電などの恐れがあります。



**設置、ケーブル配線、移動は電源を抜いて**  
本装置の設置や移動、ケーブル配線などを行う場合は、必ず電源ケーブルを抜いた状態で行ってください。



**次のような場所での使用や保管はしないでください。**  
・直射日光の当たる場所  
・暖房器具の近くなどの高温になる場所  
・急激な温度変化のある場所（結露するような場所）  
・湿気の多い場所や、水などの液体がかかる場所（湿度80%以下の範囲でご使用ください）  
・振動の激しい場所  
・ほこりの多い場所や、ジュースをぬいた場所（静電気障害の原因になります）  
・腐食性ガスの発生する場所



**日常のお手入れ**  
本装置の汚れは、乾いたやわらかい布でふきとってください。ペンジン、シンナーなどは使用しないでください。変形や変色の原因になります。

## PORT1

接続するメディアに合わせてコネクタを選択します。（PORT1は100BASE-TX/10BASE-T/2/5の共用ポートとなっています。3つのコネクタを同時に使用することはできません。）

(1) BNC (10BASE2) ポート  
10BASE2のシノワイヤークーブル（細径同軸ケーブル）を接続するためのコネクタです。使用方法については、後述の「 設置、接続のしかた」をご参照ください。

(2) TERMINATORスイッチ  
BNCポートに内蔵された50 のターミネータ（終端器）のON/OFFが設定できます。

ON (右)  
FS702をシノワイヤークーブルの端に設置する場合は、「ON」に設定し、シノワイヤークーブルのBNCコネクタ（オス）を直接接続します。

OFF (左)  
FS702をシノワイヤークーブルの途中に設置する場合は、「OFF」に設定し、T型バルブを用いて2本のシノワイヤークーブルを接続します。このとき、2本のシノワイヤークーブルの両端はそれぞれ50 のBNC用ターミネータで終端させ、T型/ループに接続してください。

(3) AUI (10BASE5) ポート  
トランシーバークーブル（AUIケーブル）を接続するためのコネクタです。使用方法については、後述の「 設置、接続のしかた」をご参照ください。

(4) 10/100BASE-TXポート  
RJ-45コネクタを持った10Mbps/100MbpsのUTPケーブル用ポートです。  
10/100BASE-TXポートを使用する場合は、フロントパネルのMEDIAセレクトスイッチの左側を「10/100TX」に設定します。（右側は無効になります。）  
SPEED切り換えスイッチによって10BASE-Tまたは100BASE-TXとして使用できます。  
また、DUPLEX切り換えスイッチによってFull DuplexまたはHalf Duplexで使用できます。

(5) CASCADEスイッチ  
10/100BASE-TXポートをカスケード接続用ポートとして使用するが、通常のポートとして使用するかを選択します。

To HUB (MDI)  
カスケード接続をするときのカスケードポート (MDI) として使用します。

To PC (MDI-X)  
通常のポート (MDI-X) として使用します。

## PORT2

(6) 100BASE-FXポート  
SCまたはSTコネクタを持った100Mbpsの光ファイバーポートです。DUPLEX切り換えスイッチによってFull DuplexまたはHalf Duplexで使用できます。

(7) 電源コネクタ  
電源ケーブルを接続するためのコネクタです。電源スイッチはありませんので、電源ケーブルを接続すると、電源がオンになります。

(8) MEDIAセレクトスイッチ  
PORT1のメディアに応じたポートを設定する際に使用します。  
電源オンの前に切り換えておく必要があります。（電源オン後の切り換えは無効です。）

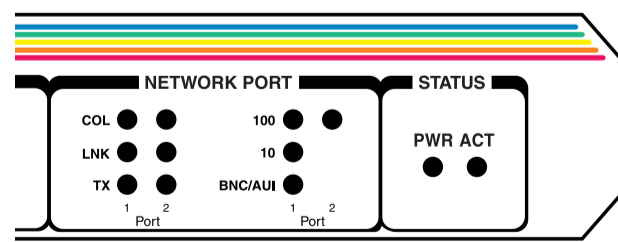
BNC: 左側を「BNC/AUI」、右側を「BNC」  
AUI: 左側を「BNC/AUI」、右側を「AUI」  
10/100BASE-TX: 左側を「10/100TX」、右側は無効

(9) SPEED切り換えスイッチ  
PORT1の通信速度を切り換えます。  
上側が10BASE-T、下側が100BASE-TXで通信します。

BNCおよびAUIは10Mbpsのみです。  
電源オンの前に切り換えておく必要があります。（電源オン後の切り換えは無効です。）

(10) DUPLEX切り換えスイッチ  
PORT1-2のDUPLEXモードを切り換えます。  
上側がHalf Duplex（半二重）、下側がFull Duplex（全二重）です。  
電源オンの前に切り換えておく必要があります。（電源オン後の切り換えは無効です。）

## ● LED表示



## PWR

本体に電源が正常に供給されているとき点灯します。

## ACT

本体全体のバケットの送受信が正常に行なわれているときに点滅します。

## COL

該当ポートのセグメント上でコリジョンが発生しているときに点滅します。（Half Duplexモード時のみ。）

## LNK

該当ポートと接続機器とのリンクが確立し、相互に通信が可能な状態にあるとき点灯します。

## TX

該当ポートのバケットの送信が正常に行なわれているときに点滅します。

## 100

該当ポートが100Mbpsで通信している状態を示します。PORT2は電源オン状態で常に点灯しています。PORT1はSPEED切り換えスイッチが「100」のとき点灯します。

## BNC/AUI

PORT1がBNCポートまたはAUIポートに設定されているときに点灯します。

## ● 設置するまえに

**設置場所**  
FS702を設置する適切な場所を確保してください。以下のような場所への設置は避けてください。

- ・直射日光のあたる場所、湿気の多い場所や水のかかる場所
- ・温度変化の急激な場所（暖房機、エアコン、加湿器、冷蔵庫の近くなど）
- ・ほこりの多い場所
- ・強い振動、腐食性ガスの発生する場所

## 電源

電源電圧に合った適切な電源ケーブルを使用してください。日本国内などで100Vでご使用になる場合は、FS702FCR/FTRに付属のAC電源ケーブル（アース線付き3ピンコネクタ）を使用し、3ピンAC電源コンセントに接続してください。不適切な電源ケーブルやコンセントをご使用になると、アースが取れず、本体の金属部分に触れたとき感電する恐れがありますのでご注意ください。

## ● 起動と停止

本体背面の電源コネクタに電源ケーブルを接続すると起動し、はずすと停止します。  
FS702には**電源スイッチがありません。電源ケーブルを接続した時点で電源がONとなりますのでご注意ください。**また、電源コンセントに電源ケーブルを接続した状態でFS702側の電源ケーブルをはずさないようにしてください。感電事故などを引き起こす可能性があります。

## ● 設置、接続のしかた

ご希望の場所に設置します。水平な安定した場所で、本装置の両側面にある通気口が異物などによってふさがれないような場所に設置してください。また、本装置は屋外ではご使用できません。

MEDIAセレクトスイッチをPORT1に接続するケーブルに合わせて。

DUPLEX切り換えスイッチを接続する機器と合わせます。

SPEED切り換えスイッチを接続する機器と合わせます。

すべてのケーブルが装置間を接続するのに適切な長さであることを確認します。

	ケーブルの種類	ケーブルの最長距離
10BASE-T	UTPケーブル (カテゴリ-3/4/5)	100m
100BASE-TX	UTPケーブル (カテゴリ-5)	100m
10BASE2	シノワイヤークーブル (5mm径)	185m
10BASE5 (幹線)	イーローケーブル (12mm径)	500m
10BASE5 (支線)	トランシーバ(AUI) ケーブル	50m

PORT2 (100BASE-FX)  
ポートと端末間  
イーサネット・スイッチ半二重に接続: 412m  
イーサネット・スイッチ全二重に接続: 200m

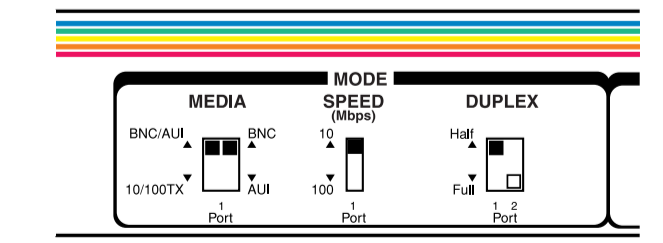
2セグメントの合計長 (ClassIIリビータ1台で接続)  
2セグメントとも100BASE-FXの場合: 320m  
100BASE-FXと100BASE-TXが混在する場合: 308.8m (100BASE-TXは最長100m/セグメント)

3セグメントの合計長 (ClassIIリビータ2台で接続)  
3セグメントとも100BASE-FXの場合: 228m  
100BASE-FXと100BASE-TXが混在する場合: 216.2m (100BASE-TXは最長100m/セグメント)

ケーブルはマルチモードタイプの光ファイバーケーブル (MMF)で、コネクタタイプ (SCまたはST) に合ったケーブルを使用してください。

1. PORT1を使用するメディアに合わせて設定します。（PORT1は100BASE-TX/10BASE-T/2/5の共用ポートとなっています。3つのコネクタを同時に使用することはできません。）

BNC (10BASE2) ポートを使用する場合  
フロントパネルのMEDIAセレクトスイッチの左側を「BNC/AUI」にし、右側を「BNC」に設定します。



（この場合、SPEED切り換えスイッチおよびDUPLEX切り換えスイッチは無効となります。）  
BNCポートにシノワイヤークーブルを接続し、接続形態に合わせてリアパネルのTERMINATORスイッチをONまたはOFFに設定します。

